

## 平成27年第1回臨時会会議録

招 集 年 月 日	平成27年2月2日（月曜日）			
招 集 場 所	伊江村議会議事堂			
開 会	2月2日 10時00分 島袋義範議長宣言			
閉 会	2月2日 11時07分 島袋義範議長宣言			
出 席 議 員 （ 応 招 議 員 ）	1	島 袋 義 範 議 員	7	渡久地 政 雄 議 員
	2	島 袋 勉 議 員	8	亀 里 敏 郎 議 員
	3	山 城 善 彦 議 員	9	知 念 一 邦 議 員
	5	内 間 広 樹 議 員	10	名 嘉 實 議 員
	6	仲宗根 清 夫 議 員	11	内 田 竹 保 議 員
欠 席 議 員				
本会議に職務のため出席した者の職氏名	議会事務局長 島 田 勝 雄 君 主 査 山 城 佐 百 合 君			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	村 長	島 袋 秀 幸 君	副 村 長	名 城 政 英 君
	教 育 長	宮 里 徳 成 君	総 務 課 長	内 間 常 喜 君
	建 設 課 長	並 里 晴 男 君	教 育 行 政 課 長	大 城 強 君
	農 林 水 産 課 長	知 念 吉 久 君	公 営 企 業 課 長	西 江 正 君
	農 林 水 産 課 参 事	宮 里 政 喜 君	商 工 観 光 課 長	東 江 民 雄 君
	福 祉 保 健 課 長	金 城 和 廣 君	政 策 調 整 室 長	宮 城 弘 和 君
	福 祉 保 健 課 参 事	亀 里 裕 治 君	住 民 課 長	西 江 忍 君
	農 業 委 員 会 事 務 局 長	宮 里 正 邦 君	総 務 課 長 補 佐	新 城 米 広 君
議事日程及び会議に付した事件	別紙のとおり			
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

## 平成27年第1回伊江村議会臨時会議事日程（第1号）

平成27年2月2日（月）午前10時00分 開 会

日程	議案番号	件名
第1		会議録署名議員の指名（2番 島袋 勉・3番 山城善彦）
第2		会期決定の件
第3		議長の諸般の報告
第4		村長の行政報告
第5	議案第1号	上水道浄水施設ろ過膜取替工事の請負契約について
第6	議案第4号	集客イベント活性化支援事業（発電機購入）の契約について
第7	議案第2号	平成26年度伊江村一般会計補正予算（第7号）
第8	議案第3号	平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第3号）

## ○ 議長 島袋 義範 君

ただいまから、平成27年第1回伊江村議会臨時会を開会いたします。

(開会時刻10時00分)

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって2番 島袋 勉議員、3番 山城善彦議員を指名します。

日程第2 会期決定の件を議題とします。お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間にしたいと思えます。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって会期は、本日1日間に決定しました。

日程第3 議長の諸般の報告を行います。

地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月出納検査の結果報告が、お手元に配りました写しのとおり提出されています。

次に、私の主な出張について、報告をします。

12月21日、名桜大学開学20周年・公立大学法人化5周年記念式典並びに祝賀会が名桜大学で行われ、出席いたしました。

1月8日、平成27年JAおきなわ北部地区新春の集いが名護市のJAファーマーズにおいて開催され、出席いたしました。

1月20日、国・県の出先機関の長及び関係団体等と北部市町村との新年会が名護市の北部会館で開催され、副議長とともに出席いたしました。

1月26日、奄美・やんばる広域圏交流推進協議会が国頭村で開催され、出席いたしました。

これで私の諸般の報告を終わります。

日程第4 村長の行政報告を行います。村長から行政報告の申し出がありましたので、これを許します。

村長 島袋秀幸君。

## ○ 村長 島袋 秀幸 君

おはようございます。平成27年第1回伊江村議会臨時会を招集しましたところ、全議員の出席を賜りまして、まことにありがとうございます。

なお、本臨時会は産地水産業強化支援事業による、伊江漁協の製氷施設の改築の契約議決を予定しての招集でしたが、県との事務調整の中で、県議会によります県の繰越承認後の発注が望ましいということで、県の強い指導のもとにまだ発注をしておりません。

そういうことで詳しい経過につきましては、今後のスケジュールにつきましては、後ほどの議案第2号の一般会計補正予算（第7号）の中で農林水産課長より説明をさせたいと思えますので、よろしく願いをしたいと思えます。

それでは行政報告を行います。

1点目、成人式の開催について、報告を申し上げます。平成27年の成人式を1月4日、改善センターで開催をいたしております。今年の新成人は伊江中学校62期生で、対象者75名のうち、66名が出席し、来賓、父母、恩師の方々が人生の晴れの門出を祝っております。新成人の皆さんの今後の活躍を心から祈念をいたしたいと思えます。

2点目、消防出初式の開催についてでございます。伊江村消防団島袋操団長、総員45名による出初式を1月6日、改善センター駐車場で、団員の入隊団をはじめ、表彰式を行いました。今回の表彰は、消防功

労賞に金城秀敏さんをはじめ、沖縄県消防協会勤続賞20名、沖縄県消防協会内助の功に島袋和代さんが表彰を受けております。村消防団の皆さんには、今後とも消防団員の使命と役割を認識され、村民の期待に応えていただきますよう、お願いを申し上げます。

3点目、三役の県外出張等について、報告を申し上げます。

まず1月19日から20日にかけて、副村長が北部振興連携事業関連で、平成27年度事業の採択のお願いと、平成26年度の事業採択のお礼のため、北部市町村副村長会の一員として、内閣府振興局へ出張をしております。

また私が、1月28日から30日にかけて、沖縄県町村会主催の市町村長視察研修に参加をいたしまして、広島県北部の北広島町において、人口減少対策としての定住促進事業等の研修を行ってまいりました。市町村の規模、あるいは立地、地理的、あるいは社会的状況は異なりますが、今後の人口減少対策としての移住政策とあわせた農業担い手確保対策について、視察を行ってまいりましたので、今後伊江村においての参考にしていきたいと思っております。

それと1月27日から28日に、東京で行いました全国B&G首長・教育長サミットに、宮里教育長が参加をしております。

4点目、建設事業の進行状況報告についてでございますが、12月定例議会後の建設事業の執行状況は、配布をしました資料のとおり、業務委託7件、工事8件、備品購入2件を執行をしておりますので、後ほど詳しくごらんいただきたいと思います。

以上で、行政報告とさせていただきます。

#### ○ 議長 島袋 義 範 君

以上で村長の行政報告を終わります。

日程第5 議案第1号 上水道浄水施設ろ過膜取替工事の請負契約についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。村長 島袋秀幸君。

#### ○ 村長 島袋 秀 幸 君

議案第1号 上水道浄水施設ろ過膜取替工事の請負契約についての提案理由を御説明申し上げます。

まず契約の目的が、上水道浄水施設ろ過膜取替工事。契約金額が6,804万円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額が504万円）。契約の相手方 浦添市港川281-27番地、株式会社 翔南工業、代表取締役 濱元 靖と契約をしていきたいと考えております。

なお、主な工事概要につきましては、配付している資料をごらんいただきたいと思います。

上水道の浄水施設のろ過膜の取替工事でございます。そこにありますとおりA-膜のアニオン膜764枚、K-膜のカチオン膜764枚、濃縮Cガスケット772枚、希釈Dガスケット760枚、端スペンサー40枚、端パッキン8枚、ソフトロン8枚、合計3,116枚のろ過膜の取替工事となっております。

以上が、提案理由でございます。よろしくお願いたします。

#### ○ 議長 島袋 義 範 君

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。7番 渡久地政雄議員。

#### ○ 7番 渡久地 政 雄 議員

この取替工事なんですが、これは何年に一回の工事になっていますか。

#### ○ 議長 島袋 義 範 君

公営企業課長 西江 正君。

#### ○ 公営企業課長 西 江 正 君

お答えをいたします。まずこのろ過膜の耐用年数ですけれども、約10年ということでありまして。この当初、平成12年に砂ろ過施設から、電気透析ろ過装置を設置し、浄水場を運用してきております。耐用年数の超過がありまして、修繕費が大分かさむということがありまして、今回取替工事をいたしておりますけれども、耐用年数10年、それから中間でやはり老化しているろ過膜がある場合には、部分的取替工事をやってきている経緯がございます。

○ 議長 島袋義範君

ほかに質疑ありませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。お諮りします。

ただいま議題になっております議案第1号については、会議規則第39条第3項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第1号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第1号 上水道浄水施設ろ過膜取替工事の請負契約についてを採決いたします。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第1号 上水道浄水施設ろ過膜取替工事の請負契約については、原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第4号 集客イベント活性化支援事業（発電機購入）の契約についてを議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

議案第4号 集客イベント活性化支援事業（発電機購入）の契約についての提案理由を御説明申し上げます。

契約金額が831万4,920円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額が61万5,920円）。契約の相手方が沖縄県那覇市松尾1-19-1、株式会社 パック、代表取締役社長 栗國和伸と契約をしていきたいというふうに思っております。

以上で、提案理由の説明とさせていただきます。皆様の御質疑にお答えをさせていただきます。よろしくお願いたします。

○ 議長 島袋義範君

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。6番 仲宗根清夫議員。

○ 6番 仲宗根清夫議員

発電機の容量とか、大体どのぐらいの性能か、ちょっとそれをお聞きできませんか。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東江民雄君

御質疑にお答えいたします。

発電機の容量につきましては、100キロとなっております。その容量は今、ゆり祭り等となっております。舞台での音響、照明ですね。カバーできる容量となっております。

○ 議長 島袋義範君

7番 渡久地政雄議員。

○ 7番 渡久地 政 雄 議員

集客イベント活性化支援事業の購入ということなんですけれども、今、課長の説明ではゆり祭り等だけという今の答弁だったんですけれども、ほかに用途としては何々に使うんですか。

そしてまた一般といいますか、例えば海神祭等々もありますけれども、そういう村内イベント以外にも貸し出しできるんでしょうか。

○ 議長 島 袋 義 範 君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東 江 民 雄 君

ただいまの御質疑ですが、ゆり祭り等ということでお話をしまして、そういう村内の伊江島一周マラソン、それとチューパンジャまつりがあります。そして先ほど御質疑のように、村内の団体等の貸し出しですね。それについても対応できるようにしたいと思います。

○ 議長 島 袋 義 範 君

ほかに質疑ありませんか。〔「質疑なし」の声あり〕

これで質疑を終わります。お諮りします。

ただいま議題になっています議案第4号については、会議規則第39条第3項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第4号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第4号 集客イベント活性化支援事業（発電機購入）の契約についてを採決いたします。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第4号 集客イベント活性化支援事業（発電機購入）の契約については、原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第2号 平成26年度伊江村一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島 袋 秀 幸 君

それでは議案第2号 平成26年度伊江村一般会計補正予算（第7号）の提案理由を御説明申し上げます。

（歳入歳出予算の補正）第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,722万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ62億8,842万円に定めたいと思います。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によりたいと思います。

なお詳細にわたりましたは、各担当課長から事項別明細書をもって説明をさせたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮 城 弘 和 君

歳入の1ページをお願いいたします。15款2項6目特定防衛施設対策交付金3,067万8,000円の増額につき

ましては、交付決定通知によるものでございます。基金事業に充当する予定でございます。詳細につきましては、歳出で御説明させていただきます。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

同じく15款2項7目総務費国庫補助金、細節15. 番号制度整備費補助金につきましては、66万3,000円の増額でございます。中間サーバ導入経費といたしまして、国庫補助金の増額措置でございます。歳出におきましても、改めて御説明申し上げます。

○ 議長 島袋義範君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮城弘和君

歳入の2ページをお願いいたします。16款2項1目総務費県補助金1,000万円の増額につきましては、細節1186. 沖縄振興特別推進交付金の交付金限度額の市町村間流用による、追加配分の通知がございますので計上してございます。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

歳入3ページをお開きください。16款3項1目総務費県委託金、細節3. 離島割引券システムモデル事業412万円の減額につきましては、県の補助費目と村の執行会計の変更等に伴う減額補正でございます。県の一括交付金を活用いたしまして、離島住民割引運賃カードが交付されておりますが、申請手続の効率化を図るため、システム整備事業に関して、県より一般会計ではなく、船舶運航事業会計での執行が望ましいとの指導がございまして、一般会計では減額する措置となっております。

ちなみに、当初は交付金として10割の補助を予定してございましたが、今回補助金に振り替えるということで、8割の助成ということになります。また歳出のほうでも御説明申し上げます。

続いて歳出、1ページをお開きください。歳出1ページ、2款1項1目一般管理費11節、細節104. 新生協消耗品13万円の増額につきましては、祝い袋等に不足が見込まれますので、購入経費として増額をお願いいたします。13節委託料、細節101. 区長事務委託料、当初予算では平成25年度並みの予算計上をいたしておりました。行政区8区との調整後の委託料とするため17万9,000円の増額補正でございます。細節1249. 離島割引券システムモデル事業420万円の減額につきましては、歳入でも申し上げましたとおり、事業を一般会計から船舶運航事業会計へ組み替えるための減額補正でございます。19節負担金補助金及び交付金、細節141. 中間サーバ利用負担金66万3,000円の増額補正につきましては、歳入で受けました国庫補助金を中間サーバ導入を請け負う機関への負担金として支払うための増額補正でございます。

2款1項4目財産管理費、25節積立金、細節101. 財政調整基金積立金につきましては、本補正予算の歳入と歳出を調整した結果、一般財源124万2,000円を積み立てる措置でございます。

○ 議長 島袋義範君

政策調整室長 宮城弘和君。

○ 政策調整室長 宮城弘和君

同じく25節積立金の細節111. 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金3,067万8,000円の増額補正につきましては、先ほど歳入で御説明いたしました特定防衛施設対策交付金を伊江村立診療所維持管理運営事業基金及び伊江村水道施設整備事業基金に増額積立いたしまして、継続的安定的な施設の管理運営等に備えるもの

でございます。

5目企画費でございます。補正額はありますが、沖縄振興特別推進交付金事業の財源の振り替え及び15節工事請負費から18節備品購入費への事業費の組み替えでございます。15節工事請負費の400万円の減額は、E&Cセンターのストックヤード整備工事及び観光地トイレ改修工事の入札残額の減額補正でございます。18節備品購入費400万円の増額につきましては、死亡獣畜冷凍施設整備事業のステンレス製、集積バケットの追加購入によるものでございます。

続きまして、9目特別事業対策費515万円の増額につきましては、15節工事請負費の細節1239. 村道ミナト縦線整備事業の植栽工事の除草シートの追加変更並びに細節1261. 川平集落道9号線整備事業の道路延長20メートルの変更設計に伴う455万円の増額分を補正計上してございます。18節備品購入費の細節1274. 漁船巻揚機等更新事業の巻揚機の据え付け工事及び輸送費の設計変更による60万円の増額補正でございます。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

歳出2ページでございます。2款4項4目県知事選挙費、12節役務費、細節1. 通信運搬費につきましては、選挙広報の配布、各区にお願いしてございますが、その手数料が増えたための増額補正でございます。11月に執行いたしました県知事選挙に関する生産額については、県の確定通知後の3月議会で予算補正をする予定でございますので、御了承ください。

○ 議長 島袋義範君

福祉保健課長 金城和廣君。

○ 福祉保健課長 金城和廣君

歳出3ページでございます。3款2項3目保育所費18節備品購入費の細節3. 機械器具費でございますが、昭和59年に購入した中央保育所の食器消毒保管庫が故障し、修理不可能という状況でございます。購入費の計上をお願いいたします。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東江民雄君

歳出4ページをお願いいたします。7款1項1目商工総務費、細節19負担金補助金及び交付金の観光・特産PR事業の100万円の補正増につきましては、伊江島ビーチサイドホースパークのピーアールと、観光客の誘客の促進を行うため、ホームページ作成の経費といたしまして、伊江島ホースセラピー（有限責任事業組合）への補助金でございます。

2目商工振興費、12節細節3. 手数料につきましては、ただいま振興しております観光地トイレ工事に伴います仮設トイレの設置、それとくみ取り等の管理手数料として30万円計上しております。そのトイレは城山に2基に、ミースィ公園に2基の計画をする予定でございます。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城強君。

○ 教育行政課長 大城強君

歳出5ページをお願いいたします。10款5項3目文化財保護費、14節使用料及び賃借料の60万5,000円の増額につきましては、ゴヘズ洞穴の南側を自然樹木を残しつつ、ネピア等の雑木を撤去し、自然石が見られるよう、自然景観整備に伴う重機使用料でございます。また、松の苗の植栽と芝刈りについては、5月ごろを検討しております。芝につきましては、多目的屋内運動場施設整備事業現場のセントオーガスチンを活用し



たいと思います。

○ 議長 島袋義範君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内間常喜君

歳出6ページでございます。13款2項1目船舶会計補助金、28節繰出金、細節101. 船舶会計繰出金につきましては、離島割引券システムモデル事業の村負担額に相当する84万円を船舶運航事業会計へ繰り出す措置でございます。

○ 議長 島袋義範君

福祉保健課参事 亀里裕治君。

○ 福祉保健課参事 亀里裕治君

歳出7ページです。13款3項1目過年度支出金、23節償還金、利子及び割引料の細節103. 保健事業負担金精算分5万4,000円の計上につきましては、平成25年度分に係る未熟児養育医療費の国への償還分でございます。以上で御説明といたします。

○ 議長 島袋義範君

質疑に先立ち、農林水産課長から製氷施設事業についての説明をしたいとの申し出がありますので、これを許します。

○ 議長 島袋義範君

農林水産課長 知念吉久君。

○ 農林水産課長 知念吉久君

冒頭、村長の行政報告時に未発注の製氷施設工事がありました製氷施設工事の経緯等について、説明をいたします。

産地水産業強化支援事業により、今年度、平成26年度で整備予定でありました製氷施設につきましては、11月臨時議会において、亀里議員からの質疑に対し、入札不調に陥ったそれまでの件、それまでの経緯についてお答えし、12月定例会においても、国、県予算の繰り越しについて調整しており、年内に承諾が得られる見込みと説明をしてきました。その後12月26日には、沖縄総合事務局より、事故繰越承認の内諾を得、1月16日に正式な承認が下りることを受け、同日付けで工事の入札案内をし、入札に付し本日の臨時議会に請負契約についての議案を提出する予定でありました。ところがその1月16日に、国からの承認の確認と、入札案内を発送する旨、県水産課に連絡したところ、県内部での調整の結果、国の事故繰越予算であることから、慎重な処理が必要とし、県の承認も正式に出る3月10日以降に発注するよう指示が出たところであります。したがって、工期については、さらに延びまして10月末から、11月までの完成見込みで進んでいるところであります。

これまで施設整備までの高い氷代等の負担については、繰越しをしても3カ月程度の工期延長により、完成できる見込みから、村長からは漁協並びに組合員の自助努力で乗り切ってもらいたいと答弁してきましたが、製氷施設の完成が10月末としまして7カ月ほど延びることになり、漁協、組合員の負担がさらに大きくなることから、村でもその負担軽減を図っていく方針で、漁協と調整をしているところでございます。

なお、ただいま述べました製氷施設の工期、完成が延びること。その経緯、負担軽減方針等については、去った1月22日開催の漁協理事会で説明を行ったところであります。

以上、経緯等について、説明といたします。

○ 議長 島袋義範君

これから質疑を行います。

歳入、款ごと質疑を許します。

15款国庫支出金。〔「進行」の声あり〕

16款県支出金。ありませんか。〔「進行」の声あり〕

歳出款ごとに質疑を許します。

2款総務費。5番 内間広樹議員。

○ 5番 内 間 広 樹 議 員

歳出1ページ、一般管理費、細節1249. 離島割引券システムモデル事業についてなんですが、平成26年3月定例でこの事業の説明があつて、平成27年度にモデル事業として伊江村で取り組む…。モデル事業として伊江村で行うという説明があつたんですが、この事業の今の進捗状況をお聞かせください。

○ 議長 島 袋 義 範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

議員がおっしゃるとおり、県の一括交付金でもって、このシステムのモデル事業として進められているところなんですが、県のほうでもこの一括交付金の中の費目等の見直しもございまして、また総合事務局あるいは内閣府、そして財務省と調整をする段階で交付金ではなくて、補助金、当初は10割ではあつたんですが、こういったモデル事業等、中身を精査していただいた結果、補助事業が望ましいということで、今この予算の配置がえを県のほうでしているところでもございまして、村としては今すぐにでも発注できるような段階までできておりますし、速やかに交付決定がきたら、その発注がすぐにできるような手はずを整えているところでもございまして、年度内でこれが完成しましたら、今列をなして切符を買うために、カードとこういった申し込み書を書く作業がございしますが、その辺は軽減されて、なるべくこの列をなさずに効率的に購入が図れるように、迅速に進めていきたいと考えてございます。

○ 議長 島 袋 義 範 君

5番 内間広樹議員。

○ 5番 内 間 広 樹 議 員

今、説明があつたように申込書、事前を書いてくる方、また港で書き込む方がいらっしゃるんですけども、説明では割引カードをかざせば印字した申し込み書が出てくるという説明だったと思うんですよ。これ、じゃあ今カードを持っている全村民がその対象になるのか。あるいは一部の特定の方々からこの運用は、試験的にモデルとして始めるか、その辺精査されているのかどうか。お伺いいたします。

○ 議長 島 袋 義 範 君

総務課長 内間常喜君。

○ 総務課長 内 間 常 喜 君

皆さん、このカード、小さなカードですね。お持ちだと思いますけれども、この期限がちょうど3年を経過するところでもございまして、切り替えの時期が迫ってきております。そのカードの中に、この切り替えと同時に、QRコードといまして、そのカードをしっかりと印刷します。それを読み込むことで、この申し込み書を書かずに、このカードと本人が確認できれば購入ができるというふうな形になりますので、その申し込み書を書かずに購入すると。そしてそれが印刷されて出てきますので、それは公営企業課のほうで、それを印刷をし、そしてまた割引のこの補助をもらうために、県のほうに提出しますので、そういった書類がITといいますか、電子化されて迅速にそして正確に出てくるというようなシステムになっております。

ですから一部の方々ではなくて、そのカードを持っている方に関しては、すべてこの切り替えと同時にQRコードも印刷するようにしまして、そういった恩恵を受けられるようになるシステムでございます。

すみません。まだ説明不足でした。そのQRコードですから、この切り替えのときに印刷し直さないといけませんので、その辺は今後3月、4月のうちに誕生日が切り替えの時期にはなりますので、それを一斉に切り替えるのか。あるいはその都度やるのかというのは、また今後検討をしながら、今カードを持っている皆さん全てがそういった恩恵を受けられるような制度設計といたしますか。で進めていきたいと思います。

今回モデル事業というふうに明記してございますのは、今伊江村のほうがそういった利用者も多いということで列をなしている。こういった状況をこちらが訴えまして、そして県のほうでも理解をしまして、もしかしたらこれが全県の離島でもこれが使えるのではないかというような認識もございまして、それでモデル事業という形で、どちらかという伊江村が先進的にこう進めていきながら、今後必要であれば、他の離島自治体にも波及していくのではないかというふうに、こちらとしては推測しております。

○ 議長 島袋義範君

進行します。3款民生費。〔「進行」の声あり〕

7款商工費。11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

歳出の4ページ、先ほど1245.の観光・特産PR事業、ホースパークのホームページの充実ということで説明がありました。このホースパークを年間利用者数、もし把握しているのでしたら、お聞かせ願いたい。

○ 議長 島袋義範君

休憩します。

(休憩時刻10時40分)

再開します。

(再開時刻10時40分)

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東江民雄君

平成25年度の今資料でございまして、今一般客で150名、それと民泊関係等で350名の利用客がございまして。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

ただいま一般客で150名、民泊で350名の利用ということでありました。実は民泊で訪れる学生の皆さん、年間5万人を超えているわけですよね。その中で350名ということはかなり少ない数字だと思うわけです。今2つの事業所が民泊をしておりますけれども、一方は助成金を出して乗馬をさせてもらっていると。一方は理由はわかりませんが、恐らく危険だからということで、両民泊をやっている事業所のこの対応が違うわけなんです。

ですから観光協会については、1人当たり300円ですか。それを助成をして乗せているというような現状の中で、果たして今、夫婦がわざわざ長崎県から来て、そこを今管理しているわけです。ですからその辺も踏まえて、今のままでは恐らく赤字ではないのかなというような感がするわけです。行政がそれだけの経費の捻出をしてやりますけれども、やはり観光客を利用する皆さんをふやさないと、今のままでは経営的にどうなのかなというような心配があるわけですね。ですからその辺も含めて、今後においてそのホースパークを運用する中では、大いにそういった民泊で来る皆さんへのピーアールも必要ではないのかなというふうに考えられるわけです。馬主の皆さんも今年、正月1日に何頭かわかりませんが、城山の中腹まで何時間かかけて馬場通りを通過して城山の中腹というような記事も見られた経緯があるものですから、恐らく今のままのその350名、両方で500名ですか。の利用客では非常に経営が苦しくなるというのが目に見えているような感がするんですが、行政としてそのホースパークに対して、今回ホームページを充実させるということですから、大いにピーアールはできると思うんですが、今後においてそのホースパークを育成するためには、何らかの

手だてというんですか、方法、大いに利用できる観光客の皆さんが民泊を含めた観光客の皆さんがホースパークを利用できるということを構築しなければ、どうなるのかなと。経営的にその辺があるんですが、いかがでしょうか。

○ 議長 島袋義範君

商工観光課長 東江民雄君。

○ 商工観光課長 東江民雄君

ただいまの御質疑ですが、平成25年度でただいまの人数でございまして、平成26年度になりますと、そういうピーアール等が功を奏しておりまして、一般のお客さんも伸びてきている状況であるということでございます。

そして今回ホームページを改修するに当たり、いろんな情報発信を行うことができ、お客さんが多くなるといったことがございます。そして今平成27年度でございますが、沖縄振興特別交付金を利用いたしまして、その事業の運営補助等を計画しているところでございます。

そして昨年12月には民泊、両民家、民泊の事業者の皆さんともお話をいたしまして、この民泊がこのホースパークを訪れる、利用していただけるよう要請もしたところでございます。

○ 議長 島袋義範君

11番 内田竹保議員。

○ 11番 内田竹保議員

大変ありがとうございます。大体乗馬体験をさせるときに、あの東側に柵がありますが、そこを2周する程度なんです。ですから1人当たり500円で乗馬をすると、非常にその体験料を各民家はもっているものですから、事務所のほうではそれも生徒負担だよと。させてもいいんだよということでもありますけれども、体験料ももっている関係上、なかなかそれが難しい面があるわけですよ。それを500円の6名だとすると3,000円になるわけです。ですから時間的にも2周程度しかないものだから、非常に負担になると。だからといって、生徒の皆さんに支払いしなさいというのも、なかなか難しいことがあるわけですので、幸いに観光協会について今、民間負担、生徒負担が200円ということですから、5名乗せても1,000円だということ、私はもう自分の負担で子どもたちをそのまま乗馬させておりますけれども、ですからそういったことも考えて、非常にすばらしい施設だと。非常に生徒の皆さんも喜んでですね。「初めて馬に乗った」とか、いろんなことがあって、島に来たときのその体験は乗馬が一番よかったというような声があるものですから、その組織を育成するためにも、今後一体となってひとつの取り組みをお願いしたいというふうに思います。

○ 議長 島袋義範君

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

内田議員のただいまの御質疑にお答えをさせていただきます。商工観光課長からもありましたが、今後いろんな部分を考えているところでございますが、基本的な認識としましては、現状としては非常に厳しい状況にあるという部分は、内田議員と同じく、そういう感じしております。これまでの議会の中でも答弁をさせてもらいましたが、他の地域と違う、差別化できる伊江村における将来にわたって、こう発信できる観光資源という部分で今後、村としてもこれまでも一緒になって、その辺の部分をやってきましたが、今後についてもちゃんと一人立ちできるようなどころまでは支援をしていきたいという部分でずっと答弁をさせてきておりますが、そういう中で民泊の事業につきましては、先ほど商工観光課長からもありましたが、去年の12月22日に観光協会あるいはTAMAレンタの民泊の皆さんと意見交換会をしたときに、私からもその民泊の事業者とそのホースパークの利用について、いろいろとお願ひもしましたが、やはり安全対策の部分、と

いう部分が一番のネックであるという部分もお聞きをしておりますので、その旨はホースパークの関係者にも私から伝えております。それとまたホースパークにおかれましては、私が聞いている中ではやはり今の現状では、この保有している馬の調教からの関連でなかなか大人数の対応も厳しいという部分のまたホースパークの内部の問題も若干あるのかなと思っております、それで新年度においてちゃんと調教できたこの馬を購入して、その中で民泊を大いに受け入れるような態勢づくりをすれば、もっと民泊の皆さんのこの受け入れも可能になるというふうに聞いておりますし、あわせて今現状でもこの一般用の客単価の高い皆さんの需要も増えているという部分ですので、二本立てで要するに民泊の活用も図りながら、なおかつこの客単価の一般客の皆さんを大いに伊江村に呼び込んで、これを利用してもらって、2時間程度で私が聞いたところでは何万円のコースとかあるみたいですから、その辺を活用しながら今後その支援をしていきたいということで、新年度の中で一括交付金を活用したその辺の支援をしていきたいというふうに思っております、早目にそういう部分を支援をしていきまして、ホースパークみずから今後歩んでいける態勢づくりを村としてこう支援をしていきたいというふうに思っております、今回のこの観光・特産PR事業の100万円につきましては、主にその高額な客単価の高い利用者に向けて、そういう部分をホームページを構築して、発信して多くの皆さんに伊江村に来て、このホースパークを利用してもらいたいという部分のひとつとして、今回ここに計上させておりますので、これも活用しながらまた新年度ではそういう馬の購入もあわせて、ホースパークの支援をしていきたいというふうに思っておりますので、また議員の皆さんもひとつ注目を持って、一緒に一人立ちできるように支援をしていただければと思っております。以上でございます。

○ 議長 島袋義範君

しばらく休憩します。

(休憩時刻10時51分)

再開します。

(再開時刻10時58分)

商工費ありませんか。〔「進行」の声あり〕

では、10款教育費。〔「進行」の声あり〕

13款諸支出金。〔「進行」の声あり〕

進行します。

歳入歳出一括して質疑を許します。

3番 山城善彦議員。

○ 3番 山城善彦議員

歳出の5ページ、ゴヘズ洞穴の整備なんですけれども、60万5,000円という計上でありますけれども、先ほどの説明では、ネピア等を除去するというぐらいのことだということなんですけれども、範囲としては、どのあたりまでやる予定でしょうか。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強君

ただいま山城議員のどのぐらいの範囲かということですが、今ゴヘズ洞穴、伊江島飛行場から民間補助飛行場へ抜ける里道があります。その南側とゴヘズ洞穴があります。その南側なんですけれども、西側にはちょっと自然の樹木が生えていますので、そこら辺はさらにその中の内側なんですけれども、大体地籍図でちょっと大まかなんですけれども、引っ張ってみますと大体ネピア部分が500坪ぐらい、大まかなんですけれども、大体その辺、その程度の500坪程度の今、整地を予定しております。

○ 議長 島袋義範君

3番 山城善彦議員。

○ 3番山城善彦議員

ということは、ゴヘズ洞穴への何と申しますか。山の中にちょうど道路がありますけれども、これは両サイドということではなくて、左側ということですか。

○ 議長 島袋義範君

教育行政課長 大城 強君。

○ 教育行政課長 大城 強 君

はい、とりあえずは今、道路の行きますと左側ということですね。追い追いできましたら、整備については全体的な整備につきましてはまた、その計画を、全体の計画を見て進めていきたいと思いますが、今回につきましては一応は南側のほうを整備ということで、進めていきたいと思っております。

○ 議長 島袋義範君

これで質疑を終わります。お諮りします。

ただいま議題となっています議案第2号については、会議規則第39条第3項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第2号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第2号 平成26年度伊江村一般会計補正予算（第7号）を採決いたします。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第2号 平成26年度伊江村一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第3号 平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第3号）を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

村長 島袋秀幸君。

○ 村長 島袋秀幸君

議案第3号 平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第3号）の提案理由を御説明申し上げます。

第2条で第4条に定められた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正をしたいと思います。

資本的収入で31款資本的収入の既決予定額5,000円に、補正予定額420万円を追加し、420万5,000円と定めたいと思います。資本的支出で41款、資本的支出2,288万8,000円の既決予定額に、補正予定額420万円を追加し、2,708万8,000円に定めたいというふうに予定したいと思います。

詳細にわたりましては、公営企業課長から説明をさせたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

○ 議長 島袋義範君

公営企業課長 西江 正君。

○ 公営企業課長 西江 正 君

御説明をいたします。3ページです。

先ほどの一般会計補正予算で減額いたしました議決を受けました離島割引券システムモデル事業を船舶運航事業会計で受けまして、同事業を実施するものでございます。

資本的収入及び支出の収入です。31款2項1目県補助金、それから3項1目一般会計補助金、合計で420万円の計上でございます。

次、支出です。41款1項2目営業設備費の委託料ですけれども、上記の収入420万円をもって事業システムを構築する委託料でございます。なお、現在の割引システムは、村民が申込書を記入し、カードと料金を

添えて、乗船券を購入しておりますけれども、新しいシステムになりますと、申込書の記入が省かれます。それと3月ごろをめどにして、新しく割引カードを切り替えていく予定ですが、その新しいカードにはバーコード機能をもたすというんでしょうか。そういうことでバーコードチェックと料金を添えて、乗船券を購入することになります。あわせてまた補助金申請の作業が業務が軽減されていくというようなシステムでございます。以上で終わります。

○ 議長 島袋義範君

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。資金的収入及び支出の質疑を許します。〔「質疑なし」の声あり〕

質疑なしと認めます。お諮りします。

ただいま議題になっております議案第3号については、会議規則第39条第3項の規定によって、委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第3号については、委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論はありませんか。〔「討論なし」の声あり〕

討論なしと認めます。

これから議案第3号 平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第3号）を採決いたします。お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。したがって議案第3号 平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第3号）は、原案のとおり可決されました。

次にお諮りします。本臨時会において議決された案件について、その字句、数字、その他整理を要するものについては、その整理を議長に一任されたいと思います。御異議ありませんか。〔「異議なし」の声あり〕

御異議なしと認めます。

したがって、その字句、数字その他の整理は、議長に一任することに決定いたしました。

これで本日の日程は、全部終了しました。

会議を閉じます。

平成27年第1回伊江村議会臨時会を閉会いたします。御苦労さんでした。

(閉会時刻11時07分)

地方自治法第123条第2項の規定に基づき  
ここに署名する。

伊 江 村 議 会

議 会 議 長 島 袋 義 範

署名議員（2番） 島 袋 勉

署名議員（3番） 山 城 善 彦